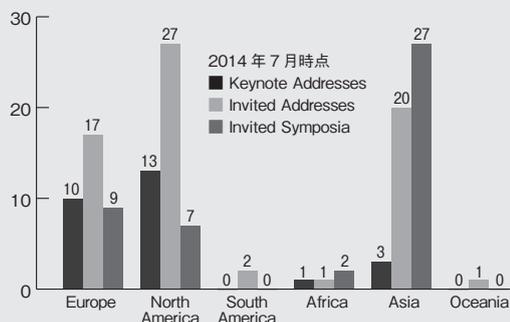


ICP2016 広報委員会から

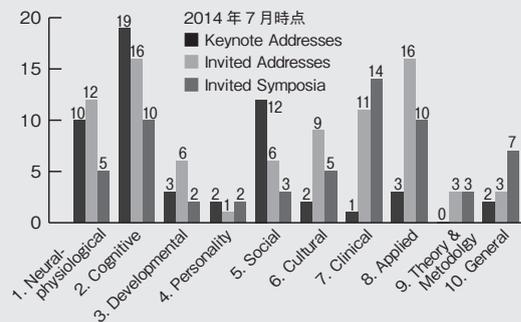
国際心理学会議 (International Congress of Psychology: ICP) がパシフィック横浜にて、2016年7月24日(日)から29日(金)まで開催されます。ICP2016のホームページはこちらです(<http://www.icp2016.jp/>)。ホームページをご覧頂くと、63領域におよぶトピックカテゴリがあり、ほとんどすべての心理学の分野の発表を募集していることがわかります。また、下図に示しましたように、様々な世界の地域から、ま



地域ごとの基調講演者、招待講演者、招待シンポジウムの件数

た、幅広い分野から招待講演や招待シンポジウムを行う予定です(件数が少ない地域や分野の講演やシンポジウムの招待は現在も続いています)。ICP2016では日本心理学会大会も合同で行われますので、多くの皆様の発表申込みや参加を歓迎いたします。Facebookにも公式ページがございます(<https://www.facebook.com/ICP2016>)。これからも情報を追加していきますので、よろしくお願いします。

(ICP2016 広報委員会副委員長 竹村和久)



大別した分野ごとの基調講演者、招待講演者、招待シンポジウムの件数

日本心理学会 若手の会から

発足2年目に入った若手の会より、今回は新しく加わった運営委員からの一言です。

新井雅 (健康科学大学) 児童・青年期の心理教育的援助やスクールカウンセリングを中心に実践・研究しています。若手の会では特定の分野に留まらず、日本と世界における心理学の過去・現在・未来について幅広く考え、皆様と今後の心理学を創り上げていく活動ができればと思います。

高瀬堅吉 (自治医科大学) 専門は臨床発達心理学です。発達段階・性別特異的行動異常を生物・心理・社会モデルの観点から研究し、介入方法の開発に繋がる基礎的知見を提供したいと考えています。結びつきを促進し、新しいものを生み出すメディアとして若手の会が機能すればと思います。

野口由梨亜 (神奈川大学) 専門は色彩心理学で、カラーユニバーサルデザインの研究を行っています。色彩感情の測定や色覚障害者の認知を助ける手立てとしてのハッチング(縞模様)の効果について研究を行っています。活動を通して様々な分

野の研究者と交流を深めたいと思います。

原邊祥弘 (帝塚山学院大学) 感情や思考・判断等の領域に興味を持っています。若手の悩みや不安を解消することができる場があればと思い、運営委員に参加しました。若手の皆様はもちろん、学会にとって少しでもプラスになればと思います。

前田駿太 (早稲田大学) 社交不安傾向を示す人の情報処理を臨床心理学の立場から研究しています。前所属先では認知心理学が専門でしたので、他分野との交流に興味があります。未熟者ですが若手の皆様の繋げる役割を担う中で、自らも様々な方と繋がりをもち学びを深めていきたいです。

三浦佳代子 (富山大学) 神経疾患患者の認知機能を研究しています。研究者の道を志したものの地方の小さな私立大学出身なので相談できる人が少なく苦労しました。そんな私にとって多くの方と交流できる若手の会は貴重です! 運営委員としても「結びつき」を促進できるよう尽力致します。

会の詳細・参加方法は、<http://www.psych.or.jp/jpamember/wakate.html>をご覧ください!
(若手の会共同世話人 小川健二・鈴木華子)